



つのがい 角替石材店 新聞

暑い日が続いておりますが、お元気で過ごしてでしょうか。

最近、草むしりでとても重宝している「モンブラン草取り一番百発百中」という道具を、是非シェアしたいと思います。先のクシ刃は



細い草の根をくわえ込んで引き抜きます。大きな草は奥のギザ刃で根を引っ掛けて抜きます。コンクリートのすき間や、壁際の雑草を抜くのに、すごく便利なんです。砂利の中から出ている雑草も、ギザギザの刃に根が引っかかって、草ごと引っこ抜けます。草取りもなかなか大変な作業ですので、道具をいろいろチェックしていますが、たくさん



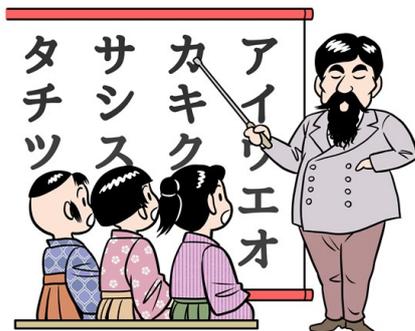
の商品があり、驚きます。実際に使ってみないと、自分にとって良いか悪いかわからないのが難しいところですが、少しでも楽にしたい思いが強いです(笑)! とは言え、仕事の合間に少しづつやっているんで、草の勢いに負けてしまっている状態ですが、雑草の根性に負けない根性で挑みたいところです!

知っていますか? 8月の記念日

●8月2日は「学制発布記念日」

1872年(明治5年)のこの日、学制が公布され、日本の近代学校制度が成立しました。このときの教育制度は、下等小学4年、上等小学4年の「4・4制」だったそうです。

画一的な内容で様々な問題点もあったため、7年後の明治12年に教育令が公布され、学制は廃止されました。



※仏事クイズの答え: ③

※まちがいさがしの答え: 1) 女性の手 2) 真ん中のかき氷の器 3) 「レモン」の「ン」

■発行者:株式会社 角替石材店

専務:角替立弘(つのがい たつひろ)

昭和46年富士市生まれ。

岳陽中、富士宮北高、建築の学校を経て、東京の設計事務所です。2年間働きました。

父親、妻、長男(23才)、次男(21才)の3世代5人家族です。読書とモノづくりが好きで、石はもちろん金属や紙を使って作品を作るのが趣味です!

※国家検定1級技能士(社長)

※二級建築士



角替石材店 展示場

☎0120-21-6649

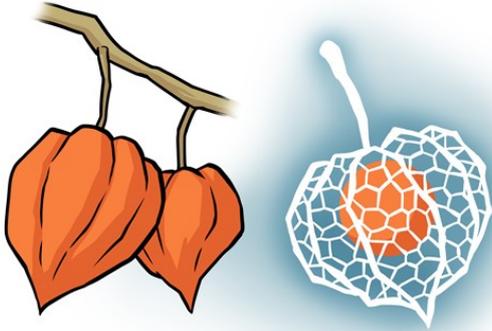
静岡県富士市厚原2108-3



～お墓・仏事のミニ知識～



★「鬼灯」は何と読む？ お盆に飾る「ほおずき」



ほおずきは、赤く丸い形が提灯のように見えることから、お盆に帰ってきたご先祖様が迷わずにたどり着けるよう目印として飾るとされています。漢字では「鬼灯」（「鬼」は亡くなった人の意）と書きます。

また、帰ってきたご先祖様が、ほおずきの

中の膨らんだ空間に一時的に宿り、お盆を過ごされるとも言われています。

最近では、お盆に飾ったあとにドライフラワーとして、おしゃれなインテリアとして長く楽しむ「透かしほおずき」も人気です。その赤く膨らんだ姿はどこか神秘的で、昔の人々が亡くなった方への思いを込めた気持ちも感じられます。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



五輪塔は、「五輪(五大:ごだい)」という宇宙を構成する5つの要素を表す部位で成り立っています。次のうち、「五輪」にないものはどれでしょう？

- ① 地輪
- ② 風輪
- ③ 木輪



五輪は、地、水、火、風、空の5つの要素で成り立っています。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。